要件定義書サンプル

# 第１　システム概要

（システムの概要を記載する）

１　システムの構成図

２　目的

　（システム開発の目的や実現したい内容などを具体的に記述する）

３　用語定義

　（要件定義書の理解に必要となる言葉について定義）

# 第２　業務要件

１　業務実施手順

（業務を実施するために必要な体制や手順、業務フロー図などを記載）

２　規模

（システムの利用者数や単位（年・月・日・時間等）当たりの処理件数を記載）

３　時期・時間

　（業務の実施時期や実施期間、実施時間などを記載）

４　場所等

　（業務の実施場所や設備などを記載）

５　管理すべき指標

（業務の運営に必要となる指標項目や手法、頻度などを記載）

６　システム化の範囲

　（システム化の対象となる業務の範囲を記載）

７　情報セキュリティ

　（業務の内容に応じた情報セキュリティ対策を記載）

# 第３　機能要件

（導入するシステムの機能に求められる要件を定義し記載）

１　機能

　（処理内容、入出力情報・方法、入力・出力の関係などを記載）

２　画面

　（このシステムで表示される画面の概要や表示イメージなどを記載）

３　帳票

　（このシステムで入出力される帳票について、帳票の概要や表示イメージなどを記載）

４　データ

　（このシステムで取り扱う全てのデータについて、データモデル、データ定義、データの利活用方法、オープンデータの範囲・方法などを記載）

５　外部インターフェース

　（外部連携する場合のインターフェースについて、送受信データ名や送受信の条件などを記載）

# 第４　非機能要件

（導入するシステムに求められる機能要件以外の要件を定義し記載）

１　ユーザビリティ及びアクセシビリティ

　（このシステムの各機能についてのユーザビリティ及びアクセシビリティについて記載）

２　システム方式

　（クラウドサービス、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク等の攻勢に関する全体の方針などの案を記載）

３　規模

　（機器数、設置場所、データ量、処理券数、利用者数などを記載）

４　性能

　（応答時間、バッチ処理時間などを記載）

５　信頼性

　（稼働率等を記載）

６　拡張性

　（このシステムの性能及び機能の拡張性要件を記載）

７　上位互換性

　（このシステムを構成するＯＳ等のバージョンアップ時におけるシステムの改修の許容度合などを記載）

８　中立性

　（調達コストの削減、市場で容易に取得できるオープンな標準的技術または製品を用いる場合などの要件を記載）

９　継続性

　（障害・災害等によるシステムの問題発生時に求められる機能、システム構成などを記載）

１０　情報セキュリティ

　（情報セキュリティ対策について記載）

１１　稼働環境

　（クラウドサービスの構成、ハードウェア・ソフトウェアの構成、ネットワークの構成などについて記載）

１２　テスト

　（システムの設計から運用開始に至るまでの全てのテストの種類、目的、内容、実施者、合否判定基準、テスト実施環境などを記載）

１３　移行

　（本番環境への業務移行、システム・データ移行について、移行時期、移行方法、以降対象などを記載）

１４　引継ぎ

　（このシステムの開発・運用等について、他の関係事業者への引継ぎに関する要件を記載）

１５　教育

　（利用者に対する教育について、教育対象者の範囲、業務実施手順、システム操作に関するマニュアルの作成などを記載）

１６　運用

　（このシステムの運用時間、障害復旧、運用管理方針などを記載）

１７　保守

　（このシステムを構成するクラウドサービスやハードウェア、ソフトウェア、アプリケーションプログラム等の保守、サポート体制などを記載）